

本庄早稲田・リサーチパークニュース2018.7

理事長就任のご挨拶



理事長 吉田信解

当財団は、2002年5月、本庄市を中心とした県北地域と本庄市にキャンパスを有する早稲田大学の連携を深めるべく、早稲田大学、埼玉県、本庄市および周辺町村等の協力のもと設立されました。

これまで、当財団は、産学官連携の様々な事業を中心に活動を行うとともに、地域企業の人材育成、地域のまちづくりの人材育成に向けた多くの講座やセミナーを開催してきました。

また、大学と地方自治体との連携について、より時代に即したあり方の模索を続けてまいりましたが、2018年6月から、本庄市長である私が、当財団の理事長に就任し、本庄市が主体となり、埼玉県や周辺市町と協力し、早稲田大学の「知」を活用させていただくことで、より地域に根ざした新たな財団運営を推進することとなりました。今後も、産学官連携に加え、地域と密接な関係にある地域金融機関とも連携してより実効性の高い取り組みを進展させる所存であります。

公益財団法人本庄早稲田国際リサーチパークは、早稲田大学等の持つ「シーズ」を、地域や企業の「ニーズ」に結びつける役割を果たしつつ、企業のニーズに即した研修の開催による地域産業人材育成、創業者の育成を手助けするインキュベーション支援、子どもたちの学習支援を通じた地域人材育成をはじめ、本庄市児玉郡を核とする地域社会の持続的発展に向けた事業の展開を図ってまいります。

関係機関および地域の皆様の、一層のご協力、ご支援をいただきたくよろしくお願ひ申し上げます。

新役員体制について

6月21日（木）に行われた評議員会で、新役員8名・監事2名・評議員9名の選任について承認され、その後同日に行われた理事会で、吉田信解新理事長、石川英寛新副理事長、今井和也新専務理事の選定についても承認されました。

また、6月4日（月）の理事会において、齋藤和也新事務局長の就任も承認されましたので合わせてお知らせいたします。

◆新役員

理事長 吉田 信解
副理事長 石川 英寛
専務理事 今井 和也
理事 堀籠 秀直
理事 室久保 貞一
理事 根岸 茂文
理事 天田 裕
理事 水谷 治

◆新監事

監事 若林 圭
監事 田中 一成

◆新評議員

評議員 渡邊 充
評議員 前沢 幸男
評議員 山下部 勝
評議員 木村 利雄
評議員 東海林 佑太郎
評議員 塚越 敬介
評議員 小西 克享
評議員 小塚 高史
評議員 戸谷 清一

◆新事務局長

齋藤 和也

本庄早稲田・リサーチパークニュース2018.7



専務理事の退任にあたり

前専務理事 荒川正夫氏

私が本財団と関係を持つことになったのは、2007年6月からで、はや11年が経過しました。その当時に早稲田大学からの私に与えられたミッションは、大学との関係を強くし、組織、運営の立て直しを図ることでした。

文学部出身の考古学を専門としていた私にとって、全くの門外漢であり、まして組織運営など全くやったことがなかったので、当初は体重が激減しました。

とはいえ、財団の組織および事業を見直し、2008年度から新たな財団として動き出すことができました。その後、新公益財団の移行など、難しい局面を迎えましたが何とか、上司を始め役員、職員の皆さんに支えられてここまで来ることができました。特に印象に残っているのは、早稲田大学環境・エネルギー研究科、環境総合研究センターと連携を組み、企業との産学官連携のもと、研究会やさまざまなプロジェクトを組めたことです。改めてこの場を借りて、関係者の皆様に御礼を申し上げます。

私ごとになりますが、本庄に来たのは大学3年の冬、今から42年前です。まだ関越自動車道も東松山までしか開通していません。本庄までは在来線で3時間近くかかるころでした。駅を降りて5分もすると一面桑畑が広がる田園風景でした。当時は本庄の中心は本庄駅北側で、銀座通りにもまだ賑わいがありました。今ではそこここに空き地が目立ち、多くの店舗がシャッターを下ろしているのを目の辺りにすると月日の流れを感じ得ません。



新専務理事 今井氏 荒川氏

11年間大変お世話になりました。改めて関係者の皆様に感謝を申し上げるとともに、今後とも財団へのご支援・ご指導のほどよろしく申し上げます。

認定創業スクール決定！ 中小企業庁平成30年度潜在的創業者掘り起こし事業

本事業に認定されると、創業スクールサイトでの募集情報の掲載や、全国創業スクール選手権へ受講生を推薦することができます。当財団の創業スクールは第2回全国創業スクール選手権で経済産業大臣賞（創業スクール大賞）、第3回ではセミファイナリストを輩出しております。当財団の創業スクールも第2回、4回で創業スクール10選に選ばれています。本年度は只今受講生募集中です！



ゼロから始める創業スクール

<http://www.howarp.or.jp/20180908HWsogyoschool.ht>



本庄早稲田・リサーチパークニュース2018.7

第一回藤田小河川調査 6月13日(水)



藤田小河川調査は、本庄市北部にある藤田小学校が中心となって行う環境教育活動で、平成17年から継続して行われています。春と秋の年2回、本庄市を流れる小山川と元小山川の同じ地点で実際に川に入り、班ごとに生きもの調査と、水質検査を行います。

地域の川に親しみ、2つの川の違いや、年ごと、季節ごとの変化を感じることで問題を見つけ、環境保全のために自分たちでできることは何か探ることを目的としていますが、普段から川沿いを歩く児童も多く、「先週は外来種のカメを数匹みかけたよ」「大雨の後で水量が多いね」など、サポートスタッフと話す子供たちの姿に意識の高さを感じます。

この藤田小学校河川調査は5年生と6年生の伝統として受け継がれており、年10回の環境総合学習は早稲田大学本庄高等学院の学生によって進められています。河川調査にあたり、学生は事前研修を受けて臨みます。学生リーダーは「この活動を通して、勉強の楽しみ方を伝えたい」と意気込みを話してくれました。

河川を題材とした体験学習は外部専門講師の支援と共に安全面のサポートが必要不可欠ですが、事前研修を受けた学生やサポートして下さる関係機関の方々*に事前授業を行っていただき、川の中での歩き方など注意事項についても確認をします。

6月13日は実際に川に入り活動を行いました。いきものが見つかるたびに歓声が上がりました。子供たちは注意深くいきものを観察し、種類や総数を模造紙にまとめ最後に川岸で発表を行いました。そのなかに国内外来種のタモロコがいましたが、なぜ関東地方に持ち込まれたかを考察し、次回発表するように宿題が出されました。



*この事業は、県環境科学国際センター、早稲田大学本庄高等学院、地元企業及びNPO、県河川管理機関、本庄市よりご協力をいただき子供たちが安全に活動できるようバックアップしていただいております。

イベントカレンダー

【7月】

■7/3、4(火、水)

新任管理監督者研修

■7/24(火)

タイム・マネジメント研修

■7/30(月)

グローバルキャンプinかみかわ事前学習

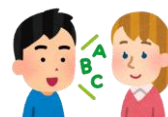
【8月】

■8/7(火)

グローバルキャンプinかみかわ交流会

■8/13(月)～17日(金)

一斉休暇(事務所閉室となります)



編集後記

前専務理事の荒川さんは遠距離通勤でしたが、いつも誰よりも早く出勤していました。なのに、メールの返信が夜中のこともあるのでコピーロボットがいるんじゃないかと通勤の新幹線でしか睡眠をとらないらしいといった噂も聞きました。荒川さんの下で11年働いて、今、それらの噂は本当の話だったんだと思っています(笑)

荒川さんはいつもにこにこ穏やかでしたが、決断が早く、相談事はすぐに解決してくれました。大変お世話になりました。楽しかったです！(N)